



# 五輪の峰

79号

平成20年

3月4日

発行

広島県立加計高等学校

ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.kake-h.hiroshima-c.ed.jp>

校訓 ~「自主」「誠実」「気魄」~

## 祝！第59回卒業式

3月1日(土)に、第59回卒業式が挙行されました。本校体育館において、県議会議員野村常雄様、安芸太田町佐々木清蔵様をはじめ多くの来賓のご臨席のもと、卒業生35名(男子19名・女子16名)が巣立っていきました。



緊張感漂う中、厳粛に式が行われました。  
体育館新築工事が7月から始まるため、この体育館で行われる最後の卒業式となりました。



担任から呼名され、卒業生一人一人が壇上に上がり卒業証書を受け取りました。



### 式辞

松澤校長は、「自分という花の芽は摘んではならない。自分の能力をいかに役立てるか。人生に逃げ場なし。生きている限り、人間はすべてを奪われることはない。この4点をはなむけとします。」と述べました。



### 送辞

品川裕太くんは、「この加計高校で出会った仲間を大切に、そして時にはライバルとして共に刺激し合いながら頑張ってください。」と語りました。



### 答辞

栗栖啓くんは、「私はこれからの日々を送っていく上で新しいつながりを作り、大切にしていきたいと思っています。皆さんも人とのつながりを大切にする事でより充実した日々を送って欲しいと思います。」と語りました。

## 進路体験発表会

2月19日(火)に加計中学校2年生対象に、本校の3年生31R 栗栖朋哉くん(広島経済大学経済学部経済学科)、32R 藤原裕貴くん(比治山大学現代文化学部地域文化政策学科)、32R 栗栖啓くん(琉球大学工学部電気電子工学科)が進路に関する体験の発表会を行いました。内容は、「特別推薦入試スポーツ分野の受験について」、「総合的な学習の時間に関する小論文について」、「国公立大学・大学入試センター試験の受験について」のテーマで一人ずつ発表を行いました。



発表会の様子

中学生は、実際の進路体験を聞くことで、高校進学や高校卒業後の進路を考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。発表を行った3名も、人前での発表の大変さや自分達の体験を伝えることの大切さを実感でき、とても良い経験になりました。

### 中学生の感想の一部を紹介します

- ・好きなスポーツで推薦をもらえてすごいと思いました。推薦がもらえるほど努力したんだろうなと思いました。
- ・失敗してもくじけずキノコ栽培を続けたのはすごい。しかも賞まで取るとなるともう最高にすごいです。
- ・英単語を2ヶ月で3000語を暗記するのは、すごく大変だし、集中力もいると思います。何事も最後までやりきる事が大切だと思いました。
- ・みんなそれぞれ目標があるからすごいなと思いました。私も進路についてちゃんと考えていこうと思ったし、この地域を大切にしていきたいと思いました。

## 第3回進路説明会



「美術・デザイン」講座模擬授業の様子

2月14日(木)に第三回進路説明会が行われました。今回は大学等模擬授業体験ということで、5大学・2短期大学から9名の講師の先生にお越しいただき、「保育・幼児教育」「体育」「心理」「工学(電気・電子・通信・情報)」「工学(建築・土木・環境)」「工学(機械)」「被服・ファッション」「美術・デザイン」「音楽」9つの講座が開講されました。普通では体験できない大学の授業にどの講座の生徒も熱心に参加していました。今回の体験を通して、これからの進路の参考にしていきたいと思います。

## バレー部活動報告



2月9日(土)に広島グリーンアリーナで行われた「第39回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会広島県大会女子決勝戦」において、本校バレーボール部の22R 佐々木沙世さん、22R 佐々木瞳さん、12R 大江ゆまさん、12R 奥田清美さんの4名がラインズマンとして、21R 佐々木麻美さん、21R 大石彩香さん、22R 小林琴美さん、22R 野田ひかるさん、11R 本計美佳子さん、12R 小坂実加子さんがモッパーとして参加しました。また、「男子決勝戦」には、顧問の坂本哲也教諭が主審、大信寿洋教諭が副審として参加しました。



試合中の様子

ラインズマンとして参加した佐々木瞳さんは、「1セット目はとても緊張したけど、とてもいい経験になりました。」と話していました。